

学校教育について



石田克男議員

◇教育懇談会のまとめについて

【質問】 6月27日から10月17日にかけて市内全小学校で「教育懇談会」を実施した。出された意見や課題をどのように総括し、今後の学校教育に活かしていくつもりか。

【答弁】 教育懇談会の最大の狙いは、学校教育のすべての情報を公開し、地域の皆さんに、飯山の教育の現状をご理解いただいた。各学校で出された意見や課題は学校長にお願いして、解決に取り組んでいる。

◇小学校・中学校の部活動およびクラブ活動について

【質問】 県教育委員会では朝練の廃止や、部活動およびクラブ活動の在り方が問題になっている。市の教育委員会ではどのように対処・指導していくつもりか。

【答弁】 朝練については、城北中学校ではやっていない。城南中学校では減少の方向。各学校の実情に応じて対処している。スキー教育に力を入れていく。

◇メディア端末の使用について

【質問】 子供達が所持している、携帯電話やスマホ等を使つてのネット

犯罪が増えている。どのように指導していくつもりか。

【答弁】 ネット犯罪から守るためには、子供も保護者も理解することが必要。青少年育成市民会議では、健全育成を進めるための「宣言」を作成し発信している。



教育懇談会の様子

◇桜つつみの桜の樹の管理について

【質問】 戸狩地籍の堤防の広井川水門の両側に植樹した桜の樹の生育が悪い。どうしたのか。

【答弁】 活着が悪く平成22年に20本植え替えた。寒い風と盛り土材が原因かと考える。管理は続ける。

生活保護制度について



竹井政志議員

【質問】 「生活保護の扶養可否確認文書・県内12市で誤解を招く表現」と報道され、飯山市でも同様の表現があつたとされているが、市長としてどのように受け止めているか。

【答弁】 「保護に当たっては扶養義務者の扶養を優先的に受けることが前提となっています」の「前提」という言葉を、現在、削減している。憲法25条を基本に考えていく。

◇特定秘密保護法について

【質問】 何が秘密かは秘密として、政府が勝手に秘密を指定し、関係する公務員、民間人のプライバシーまで調べ、秘密を知ろうとする国民を処罰する法律。市民の命と財産を守る立場の市長の見解は。

【答弁】 戦後日本にとって大事な問題。慎重審議すべきだった。市長としての意思表明をしていく。

◇道徳教育の教科化について

【質問】 平成19年の第1次安倍内閣の時に提言され、世論や学校現場からの批判で断念したもの。平成27年に教科化する方針と言われている。教育委員会としてどのように考えるのか。

【答弁】 道徳教育は、すべての教育活動において進めるべき。心の内面を数値で評価することは適切ではない。今後数値による評価は行わない。

◇消火栓等消防施設について

【質問】 消防に必要な水利施設は、市が設置し、維持管理するとされている。消火栓の新設、修繕、移転に伴う地元負担はどうなっているのか。

【答弁】 現在、地元負担は事業費の5%、10%。消防法では市が整備することになっているので、今後検討していく。



子育て支援の充実で 定住人口の拡大を



高山恒夫議員

◇子育て支援の動向について

【質問】 国の新制度「子ども・子育て会議」の目指すところは何か。

【答弁】 国では平成27年4月から子育て新システムでの対応が予定されている。それに合わせ飯山市も「子ども・子育て支援事業計画」5カ年計画を策定する。また、保護者や保育関係者で「飯山市子ども・子育て会議」を設置するための審議会的組織を条例化する。

◇第3子保育料無料について

【質問】 保育料の第3子無料化施策によってどのような変化が表れているか。

【答弁】 出生数では、24年度115人、25年度現在のところ92人と全体数では増加の状況ではないが、保育所入所世帯に占める第3子無料化世帯の割合は23年度25・4%、25年度現在のところ28・1%であり増加傾向である。

◇3世代同居住宅建設について

【質問】 3世代同居住宅建設支援事業の実績はどうか。

【答弁】 23年度から増改築等の借入利子補給制度を始めたが、3年

間で補助合計件数は17件。うち約9割は15歳未満の子どものいる家庭となっている。定住促進と併せて子育て支援に寄与するものと考えている。

◇子育ては飯山、通勤は新幹線で

【質問】 新幹線飯山駅の活用により子育て環境日本一を宣言すべきでは。

【答弁】 飯山市には素晴らしい自然の恵み、風土、産業、伝統文化があり子育て環境は整っている。新幹線で都会との距離も近くなる。はつらつとした子ども達の成長につながる施策を進めていきたい。



この景観も子どもたちも飯山の宝です。

側溝の整備について



上松永林議員

円程度、その他数百万円。

【質問】 (仮称) 飯山ぷらざの維持管理費5000万円の内訳は。また、それだけかけるメリットは何か。

【答弁】 水道光熱費、人件費などが、詳細は運営計画で検討する。現在の市民会館は建て替えが必要施設。新しい建物になるとどうしても維持経費がかかるが、できるだけ節減をして運営したい。

【質問】 近隣との競争で大丈夫か。

【答弁】 市民が活用する施設。興業競争はしない。駅に近いメリットを生かしたり、広域観光等で独自の活用をしたい。

【質問】 管理運営計画の早期開示を。

【答弁】 鋭意努力する。

【質問】 建設予定価格を無視した設計図だったのではないか。

【答弁】 設計額は予算の範囲内。

【質問】 規模縮小で当初の基本理念は達せられるか。

【答弁】 達せられる。

◇全国植樹祭開催地について

【質問】 52年ぶりに長野県で開催予定の全国植樹祭開催地の誘致を。

【答弁】 情報収集を急ぎ、検討する。

飯山の売りはやはり「雪」



水野英夫議員

【質問】 26年度の予算編成方針については、新幹線関連以外は大変厳しいようだが、特に村部の市民にも希望が持てるような予算にしてほしいが。

【答弁】 飯山市が始まって以来の歴史的な新幹線開業があるので、それを何とか成功させていかなければいけない。市民の皆様にも我慢すべき所はしてもらいながら、個別の案件については現場と相談しながら対応したい。

【質問】 現在の商工観光係を商工係と観光係に分けるべきと思うが。

【答弁】 現在広域観光推進室があり実質的には職員の数が増やしている。しかし新幹線開業を控えた大事な時期なので来年度に向けて組織についても検討していきたい。

【質問】 飯山市観光局の台湾での宣伝会に参加したが、飯山の雪をメインにした観光事業、宣伝展開を強化すべきと感じた。台湾から旅行会社を招待したかどうか。

【答弁】 雪を利用したものに傾注したい。また、台湾や韓国とのパイプを強くして招待も考えたい。



台湾での観光局の商談会

【質問】 飯山らしい教育でスキーは大事。かつては夏は陸上、冬はスキーというように、冬は多くの子供たちがスキーをしていたが、そういう指導はできないか。

【答弁】 現状ではレベルが上がっていくと難しい。小学校では今までクロスには力を入れていたが、アルペンが弱かった。来年度からアルペンスキー教室を2回に増やしたい。

【質問】 子供たちのサッカー人気への対応は。

【答弁】 グランドの整備も検討していきたい。

レセプト・健康情報等を活用した

データヘルスの推進を



小林初子議員

【質問】 国では、すべての健康保険組合がデータヘルス計画を策定し、27年度から実施することを目標としている。データヘルスとは医療保険者によるデータ分析に基づく保健事業のことで、レセプト（診療報酬明細）・健康診断情報等を活用し効果的な保健事業を実施していくために作成するのがデータヘルス計画である。当市では、レセプトデータはどう活用しているか。

【答弁】 常時活用するようにはなっていない。今後、国保連合会が個人単位でデータ管理できるものを作ることで保健事業も有効あるものになつていくので、対応について考えたい。

【質問】 ジェネリック医薬品は医療費削減の面で、厚労省主導で普及に向けての政策が進められている。広島県呉市では、ジェネリック医薬品情報を国民健康保険の加入者対象に通知する「ジェネリック医薬品促進通知サービス」を5年ほど前から実施しており、億単位の薬剤費削減になったと聞くが、当市においては取り組みは。



地域で安心の子育て環境を
児童センターでそり遊びを楽しむ

【答弁】 本年度、ジェネリック医薬品を使った場合に100円以上差額が出る対象者に通知を出す予定。◇飯山市子ども・子育て支援事業計画について

【質問】 保育・地域の子育て支援などを質・量ともに充実させるのが目的であるが今後の取り組みは。

【答弁】 年内にニーズ調査を行い、その後子ども・子育て会議を設置し、年度内に量の見込みの推計を出す。その後、確保方策等の検討をして、27年3月までに計画策定を行う予定。

3か年実施計画について



水野晴光議員

はどのくらいか。

【質問】 自然と共生する豊かな暮らしの項目の中の産業連携・景観づくりでは、フラワーロード事業が今まで同様計上されている。通行される方に変好評を得ているが、綱切橋から中央橋までの堤外地の景観はいかがか。

【答弁】 堤外地は、荒廃地や雑木が多い右岸はかなりきれいになったが、今後、左岸についても国交省へ働きかけを行っていきたい。

【質問】（仮称）飯山ぶらぎの入札が2回とも不落札となり計画を見直して縮小とのこと。管理運営費



建設が進む中央橋

【質問】 飯山城址整備について本丸門、広場、園路整備が計画されている。建設予定の建物は本丸門だけだと思われる。石田市長の時は物見櫓を建設したいとのことであつたと思うが現在の状況は。

【答弁】 整備計画は史実に基づき、江戸末期の状態への復元を進めている。物見櫓、二重櫓が存在していたが、県の史跡内に認可を得られる資料がまだ整っていない。

【質問】 新幹線開業に向け、駅前にビジネスホテル誘致を考えては。【答弁】 思い切った優遇策を考えるなど、ホテル建設ができるように検討していきたい。

大中河川の治水・ 利水について



西條豊致議員

【質問】 信濃川水系河川整備計画案が策定され、市長が知事に意見書を提出した。県管理区間の整備計画の進捗状況は。

【答弁】 県管理区間の直轄管理区間への早期編入、および上下流のバランスのとれた整備を要望した。県管理区間の整備計画については、新潟県と調整し素案ができ次第、公聴会を実施し、流域市町村の意見を聞く予定とのこと。

【質問】 河川敷の雑木の伐採の進捗状況と千曲川中州の浚渫予定は。

【答弁】 東小沼地籍の伐採・伐根



伐採後の東小沼地籍

【答弁】 根越用水取入口の工事は2月の渇水期に実施し、三組用水は後日現地を確認する。坂井樋門は定期検査時に巻揚げの調整・塗装の指摘があり補修したが、委託先への連絡はしていない。

【質問】 市役所職員の臨時・嘱託職員の雇用形態と定年について。

【答弁】 地方公務員法の任用規程を準用し、飯山市職員任用規程により定年を設定している。嘱託職員は1年ごとに任用し、55歳以上は原則再任用をしていない。

【質問】 薬師寺の瓦について。

【答弁】 飯山地方の学校名の瓦は15校あり、道德教育の教材として活用したい。

介護保険制度について



渡辺美智子議員

安心していけるようにしたい。

【質問】 現在要支援者で訪問介護や通所サービスを利用している人は今後どうなるのか。

【答弁】 サービスを使えなくなると、不都合や重症化が予想される。市としてはこれから検討する。

◇除雪について

【質問】 夕方の除雪対応がされていない。10センチ以上で除雪するとなっているがどうなっているのか。

【答弁】 パトロールして、10センチ以上の積雪の時は受け持ち担当業者に依頼する。

【質問】 住宅除雪支援について、長野以北に家族や親せきが住んでいる方はこの事業の対象外となった。対象から外れた人たち（前年度比62%・164世帯）の昨年の実態は。

【答弁】 制度の説明をして親族に除雪を依頼した。個別に事情がある人は状況を把握して対象にした。

◇福祉灯油の実施を

【質問】 灯油の高騰で現在1リットル配達料金込みで106円以上になる。

【答弁】 灯油価格の状況を見て判断する。必要なら専決で実施する。



介護保険制度見直しに向け、早めの対策を。

新幹線開通に向けた

地域産業の振興対策について



山崎一郎議員

【質問】 新幹線の開通に向けて地域の重要な産業である観光を、海外に広げていくために、市長と副市長はこの度海外視察をされたが、海外展開への可能性にどのような思いを持たれたか。

【答弁】 オーストラリアのバースト市の高校生と先生方が、春に飯山に見えたことが縁で訪問した。自然環境が良く、人口規模も飯山に似ていて時差もほとんどなく季節が逆であり、日本語を第2外国語としている中高一貫校なので、学校交流を含め観光振興を進めるに



海外展開への可能性の大きいかまくら祭り

は英語圏では最適に感じた。また、観光と農産物の海外展開を視野に、台湾で物産展を開催しながら観光PRをした。スノーシュー、かまくらに強い関心を示され、可能性を感じた。農産物を含めた交流についてアプローチしていきたい。

【質問】 地域の伝統野菜である木島の「坂井いも」と「常盤ごぼう」の振興対策と、既にブランド化している「みゆきポーク」の支援策が重要だ。また、これら農畜産物の6次化対策も重要に思うが。

【答弁】 評価の高いみゆきポークは、飼料代の高騰等で厳しい経営環境にある。今後は共同経営化等を含めた合理化策を、生産者・JAと共に検討・支援していく。また、「坂井いも」も市場の評価が高いので、生産量を増やす必要があるが、作付け場所が限られるので水田の転作作物にできないか検討したい。また、「常盤ごぼう」は、堀取り作業の省力化対応の機械化の支援策をJAと検討し支援していく。農畜産物の6次産業化の問題は重要なので、関係者と連携し検討する。

清川の治水について



渋川芳三議員

【質問】 清川治水の重要性をどのように考えているか。

【答弁】 県では今回の崩落で直ちに下流域に土砂が放出されるようなことはないと考えている。引き続き県と連携して注視していくが、川が濁る等の異変があつた時には直ちに連絡をお願いしたい。

【質問】 長期的には何らかの対策を講じる必要があるがどうか。

【答弁】 県の対応を見ながら、地元とも相談して進めたい。

【質問】 洪水以外の自然災害に関するハザードマップを作成する考

清川の崩落現場



えはあるか。

【答弁】 土砂災害や地震などのハザードマップが考えられるが、現在行っている防災計画の見直しに合わせ検討してゆく。

◇観光行政の推進について

【質問】 観光の現状をどのように理解し、今後どのような点に力を注いでゆくつもりか。

【答弁】 信越自然郷の組織ができ、いろいろなつながりのあるイベントを実施できた。今後は9市町村が一つのエリアとして外に発信し、体系的に広域観光を進めてゆく。良い素材はたくさんあるので、これをどのように組み立て、利益の出るものにするかということに取り組みたい。

【質問】 若者や海外からのお客様を呼び込むため、インターネットを活用した方法も考えてほしい。

【答弁】 最近はオーストラリアからインターネットを活用して個人や少人数で来るスキーのお客様が増えている。観光局のホームページでは英語・中国語・韓国語の3種類で対応している。

観光地における 安心な道路除雪を！



渡邊吉晴議員

◇冬期間の道路除雪について

【質問】 豊田飯山インターから、現在中野市となつた北永江から親川経由で、斑尾高原に通じる道路除雪が良くないとクレームが、斑尾高原に来る観光客からも地元住民からも出ている。飯山市と中野市なので除雪区域は違うが、広域観光を立ち上げた中で、中野市と協力し、観光に力を入れて誘客を進める上で、安心して車が通れる道路にするべきと思うがいかがか。

【答弁】 中野市と飯山市に区域が分かれていて問題もあるが、観光客

から苦情のないよう話を進めたい。

【質問】 中野市では観光地としての宿泊やスキー場の収入はないが、斑尾高原の観光客が斑尾温泉に入り、食事を取り、お土産を買って帰ることも多いと聞くので、安全な道路の除雪を思うがいかがか。

◇空き家および廃屋について

【質問】 空き家・廃屋の問題は全国各地で取り上げられ、斑尾高原でもホテルやペンションの空き家や廃屋となった建物が目立ち、観光地としての景観も悪く、中には危険を伴う建物もある。このような建物は早急に取り壊しを思うが。

【答弁】 飯山市空き家条例の施行後、33戸の危険空き家の情報が寄せられ、審査の結果19戸を危険空き家と認定した。その後、7戸に解体等していただき、現在は7戸に指導・助言を、5戸に勧告をしている。斑尾高原の3戸については、1戸が解体工事終了、2戸が現在指導・助言等で交渉している。

請願・陳情審査

◆請願第7号

今後の農業を守り発展させるために必要な支援に関する請願

《趣旨採択》

請願者

長野県下水内中部土地改良区
理事長 清水 一洋

◆請願第8号

原子力発電所再稼動に反対することを求める請願

《継続審査》

請願者

なくそう原発飯山岳北の会
小林 則夫

◆請願第9号

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願

《不採択》

請願者

新日本婦人の会飯山支部
常田 綾子

◆請願第10号

「特定秘密保護法」制定に反対する意見書の提出を求める請願

《不採択》

請願者

飯水岳北平和委員会
常田 泉

◆請願第11号

介護保険の軽度の認定者に十分な介護サービスを保障することを求める意見書を提出する請願

《不採択》

請願者

飯山市生活と健康を守る会
会長 市村 孝雄

◆請願第12号

消費税の増税中止を求める請願

《不採択》

請願者

須坂・北信濃民主商工会
飯山支部長 荻原 洋平

◆陳情第1号

「森林・林業基本計画」の推進及び、平成26年度予算に関する陳情

《趣旨採択》

陳情者

北信地区森林労連
執行委員長 西村 正弘

意見書

◆意見書第5号

特定秘密保護法案に対する慎重な審議を求める意見書

《左記のとおり原案可決》

政府は特定秘密保護法案を今国会に提出し、衆議院段階で採決され、現在参議院において審議が進められているが、国民の間には、過去の戦争での経験と相まって大きな不安が生じている。

この特定秘密指定は行政機関の長がおこない、対象となる防衛、外交等の具体的範囲が明確でなく曖昧なものであること、適正に運用されない場合、憲法で保障されている基本的人権を侵害する恐れがあることなどが指摘されている。行政機関が保有する文書等は、主権者である国民に対する説明責任のため情報公開制度の対象とされることが基本である。また、広範な情報を特定秘密とすることによって報道機関の取材活動を委縮させ、国民の知る権利や言論を大きく制限されることなども危惧されている。

よって国においては、国民の権利侵害をすることのないよう、同法案に対しより慎重な審議を

行うことを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

◆意見書第6号

特定秘密保護法の慎重な運用を求める意見書

《左記のとおり原案可決》

政府は先の臨時国会において、国民に多数の不安の声がある中、特定秘密保護法の採決を強行し成立させた。当市議会においても、こうした状況を踏まえ慎重な審議を求めたところである。

もとより、安全保障の確保、国民の生命・財産等を守る上での秘密事項の指定の必要性については、これを否定するものではないが、このままでは国民の知る権利が阻害されることや、行政機関による恣意的な秘密指定・運用がされることも危惧されるところである。また、この法律に国民の十分な理解が得られたとは言い難い。

よって、国においては、民意を尊重しつつ、限度を超えた情報隠しができない制度の構築に努める等、この法律を慎重に運用するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規

定により意見書を提出する。

◆意見書第7号

T P P交渉に関する意見書

《左記のとおり原案可決》

T P Pは、例外なき関税撤廃が前提であり、関税が全て撤廃されれば、わが国農業へ壊滅的な影響を及ぼす。また、I S D、食の安全・安心、医療、保険など、国民生活に直結し、国家の主権を揺るがしかねない重大な問題を含んでいるにも関わらず、こうした不安や懸念が払拭されな

いまま、わが国が交渉参加に至ったことは誠に遺憾である。

食料・農業・農村基本計画は、平成27年3月までに見直し、食料の安定供給を図るための新たな計画を閣議決定する必要がある。また、本年6月に閣議決定した「日本再興戦略（成長戦略）」において、「今後10年間で農業・農村全体の所得を倍増する戦略を策定する」とされており、T P P交渉によって、食料自給率の向上や将来の農業経営の安定に悪影響をもたらすことは断じて認められない。

したがって、国権の最高意思決定機関である国会の衆参農林

長野県特別豪雪地帯

指定市町村議会協議会

活動報告

☆平成26年総会開催☆

去る、平成26年1月29日、飯山市役所において、長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会の総会が開催されました。

この協議会は、特別豪雪地帯の指定を受けた市町村（飯山市、信濃町、山ノ内町、白馬村、長野市、栄村、小谷村、高山村、木島平村、

◆意見書第5号

特定秘密保護法案に対する慎重な審議を求める意見書

《左記のとおり原案可決》

政府は特定秘密保護法案を今国会に提出し、衆議院段階で採決され、現在参議院において審議が進められているが、国民の間には、過去の戦争での経験と相まって大きな不安が生じている。

この特定秘密指定は行政機関の長がおこない、対象となる防衛、外交等の具体的範囲が明確でなく曖昧なものであること、適正に運用されない場合、憲法で保障されている基本的人権を侵害する恐れがあることなどが指摘されている。行政機関が保有する文書等は、主権者である国民に対する説明責任のため情報公開制度の対象とされることが基本である。また、広範な情報を特定秘密とすることによって報道機関の取材活動を委縮させ、国民の知る権利や言論を大きく制限されることなども危惧されている。

よって国においては、国民の権利侵害をすることのないよう、同法案に対しより慎重な審議を

☆長年の活動の成果☆

～住宅除雪支援事業～

当協議会では、長野県に対し、「雪害救助員派遣事業」の制度の維持、拡充、基準単価の見直しについて要望してきました。その結果、今年度から県では、「特別豪雪地帯住宅除雪支援事業」と事業名を変更するとともに、基準単価を引き上げ、けだし（住居から生活道路までの除雪も対象とするなどの見直しを行いました。

県の補助内容の見直しを受け、「飯山市住宅除雪支援事業」も見直され、本人負担額を現行の1時間当たり400円から、300円へと軽減することができました。

編集後記

今12月議会を終え、我々議員の任期も残り1年を切りました。この間、一般質問では平成24年6月議会から一問一答方式を導入し、議論が分かりやすくなるようにしました。また、1年前の平成24年12月議会より予算決算常任委員会を設置し、全議員による予算と決算の審議を行うようになりました。

今現在、市報にこの「市議会だより」が掲載されるのは、議会が開催された翌々月になります。これももっと早く掲載し、より早く皆さんに情報をお届けできるよう、検討していきたいと思っています。

この他にもまだまだ議会改革は必要なこともあると思います。が、市民の皆さんのご意見をお寄せ下さい。（水野 英夫）

議会だより編集委員会

委員長 望月 弘幸
副委員長 高山 恒夫
委員 水野 晴光
西條 豊致
水野 英夫
小林喜美治
久保田幸治